

Business Report

第87期中間事業報告書

平成14年4月1日～平成14年9月30日

株 主 の 皆 様 へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社第87期中間期(平成14年4月1日から平成14年9月30日まで)の事業報告書を株主の皆様にお届けするにあたり、平素のご支援に対しまして厚く御礼申し上げます。

当中間期のわが国経済は、景気回復基調にもかかわらず更なる抜本的な経済再生策を求める声が高まる一方で、先行きへの不安感から景気回復の実感の無いまま推移しました。当社を取り巻く環境も設備投資の低迷により厳しい状況を余儀なくされました。

このような情勢の中で、全社を挙げて業績向上に懸命の努力を重ねてまいりましたが、受注高は483億75百万円 前年同期比5.4%減少となりました。売上高は前期受注残の寄与もあり487億54百万円 前年同期比 3.9%と微増ではありますが増加となりました。

一方、利益につきましては、全社集中購買の一層の加速によるコストダウンや世界最適地生産および海外調達比率の向上による変動費削減を行うと共に、人件費を中心とした固定費削減(SS作戦運動)により総費用削減を行って参りましたものの、低採算の案件が上期に集中したことに加え、退職給付会計制度において積立不足解消のために信託拠出しておりました株式の時価下落ならびに割引率の見直しによる数理差異償却等の損失要因が発生し、14億32百万円の営業損失のやむなきに至りました。

さらに、受注済案件の一部で納期延期に伴う為替差損の発生等により、19億47百万円の経常損失となりました。

特別損益では、退職給付会計制度における積立不足の償却、株式等の減損処理による特別損失を計上しました結果、当期純損失は25億24百万円となりました。

なお、87期通期の業績につきましては、前期比増収・増益を期して努力しておりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年12月

代表取締役社長 竹内 克己



営業の概況

全般の成果

第87期中間期全般の成果につきましては、以下の通りでございます。

受注高	483億75百万円(前年同期比 5.4%減)
売上高	487億54百万円(前年同期比 3.9%増)
営業利益	14億32百万円(前年同期比 1,878百万円減)
経常利益	19億47百万円(前年同期比 2,293百万円減)
中間利益	25億24百万円(前年同期比 2,639百万円減)

部門別の経過および成果

搬送システム部門

受注高は、北米・アジア向けの自動車生産ラインのコンベヤシステムならびにエレクトロニクス業界向け搬送システムが増加いたしましたものの、商業・小売業界向けの仕分けを中心とした搬送システムが減少いたしました結果、211億37百万円(前年同期比16.7%減)となりました。

売上高は、北米向け自動車生産ラインのコンベヤシステムが好調に推移しました。また、前期受注した運輸・倉庫業界向け物流センター・配送センターの搬送・仕分けのシステムも堅実に売上に寄与いたしました結果、208億12百万円(前年同期比19.6%増)となりました。

保管システム部門

受注高は、エレクトロニクス業界向けの小型自動倉庫システムが堅調に推移し、総じて海外向け案件のウエイトが高まっております。

一方で、国内の設備投資の低迷にともない、商業・小売業界向け中型自動倉庫システムならびに運輸・倉庫・食品・薬品業界向け大型・中型自動倉庫システムが減少いたしましたものの、167億3百万円(前年同期比20.7%増)を計上することができました。

売上高は、エレクトロニクス業界向け小型自動倉庫システムが増加しましたものの、食品業界向け中型自動倉庫システム、運輸・倉庫業界向け物流センター・配送センターの保管・仕分けのシステムが減少したため、183億26百万円(前年同期比0.6%増)にとまりました。

物流機器部門

代理店・販売店による地域に密着したよりきめ細かな販売活動の展開を行い、商量の確保に懸命に努めてまいりましたが、受注高は、55億52百万円(前年同期比6.3%減)、売上高は、44億46百万円(前年同期比20.8%減)計上するにとまりました。

その他の部門

主要製品の洗車機はセルフ洗車機をはじめ、新製品の投入等拡大を図ってまいりましたが、この部門全体では、受注高は49億81百万円(前年同期比17.1%減)、売上高は51億69百万円(前年同期比8.8%増)となりました。

設備投資と資金調達の状況

当中間期は、小牧・滋賀の各事業所における生産設備の更新を中心に1億9百万円の設備投資を実施し、この所要資金は自己資金でまかないました。

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内外の景気の先行き不透明な状況が続くものと思われ、なお予断を許さない状況であります。

このような状況の中で、経営の安定した成長を図るため、コア事業の品質とコスト競争力のさらなる強化を図るとともに、グローバル規模で起こりつつある市場の大変動に合わせて、物流センター等を担当するFA&DA事業の生産部門と液晶・半導体の製造装置を手がけるeFA事業の生産部門を統合し、技術力の強化及び全社横断的な生産性の向上を強化することとしました。

営業面では、ユ・ザ・が抱える物流面の問題解決についての提案を徹底的に行うと共に、既存ユーザーとの取引関係ならびに販売体制をさらに強化し、受注増加に努めてまいります。

今後とも、全社を挙げて業績の向上に取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中間貸借対照表

(平成14年9月30日現在)

百万円	百万円
資産	負債及び資本
(資産の部).....117,109	(負債の部)..... 71,799
流動資産..... 67,996	流動負債.....33,886
現金及び預金..... 8,359	支払手形..... 7,374
受取手形..... 3,637	買掛金..... 8,834
売掛金..... 21,851	短期借入金..... 1,880
棚卸資産..... 31,441	一年以内に返済予定の長期借入金..... 2,000
その他..... 2,721	コマーシャルペーパー..... 3,000
貸倒引当金..... 15	前受金..... 8,442
	その他..... 2,354
固定資産..... 49,113	固定負債..... 37,913
有形固定資産..... 24,043	長期借入金..... 30,000
建物..... 10,151	退職給付引当金..... 7,913
機械及び装置..... 3,890	
土地..... 7,567	(資本の部)..... 45,310
その他..... 2,433	資本金..... 8,023
無形固定資産..... 1,023	資本剰余金..... 5,011
投資等..... 24,046	資本準備金..... 2,005
投資有価証券..... 5,659	その他の資本剰余金..... 3,005
子会社株式..... 13,156	利益剰余金..... 32,815
その他..... 5,741	任意積立金..... 32,541
投資損失引当金..... 371	配当準備積立金..... 7,000
貸倒引当金..... 140	退職積立金..... 302
	固定資産圧縮積立金..... 238
	別途積立金..... 25,000
	中間未処分利益..... 274
	(うち中間利益)..... (2,524)
	評価差額金..... 406
	その他有価証券評価差額金..... 406
	自己株式..... 132
合 計.....117,109	合 計.....117,109

注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額	40,332 百万円
2. 受取手形割引高	2,000 百万円
3. 保証債務	2,026 百万円
4. 自己株式数	
単元未満株式の買取請求に伴う一時保有の自己株式	49,949 株
買い付けのもの	256,000 株

中間損益計算書

(平成14年4月1日から平成14年9月30日まで)

百万円

経常損益の部

営業損益の部

営業収益	48,754
売上高	48,754
営業費用	50,187
売上原価	44,460
販売費及び一般管理費	5,726

営業損失 1,432

営業外損益の部

営業外収益	320
営業外費用	835

経常損失 1,947

特別損益の部

特別利益 46

特別損失 239

税引前中間損失 2,140

法人税、住民税及び事業税 25

法人税等調整額 358 383

中間損失 2,524

前期繰越利益 793

利益準備金取崩額 2,005

中間未処分利益 274

(ご注意) この中間事業報告書は、当社第87期中間期(平成14年4月1日から平成14年9月30日まで)の営業の概況等をお知らせするものであります。
なお、株主総会の招集、配当金のお支払いはございませんのでご了承下さい。

中間連結貸借対照表

(平成14年9月30日現在)

資産	百万円	負債・少数株主持分及び資本	百万円
(資産の部)	134,703	(負債の部)	88,013
流動資産.....	91,580	流動負債.....	45,850
現金及び預金.....	16,135	支払手形及び買掛金.....	18,903
受取手形及び売掛金.....	35,471	短期借入金.....	5,905
棚卸資産.....	36,583	コマーシャルペーパー.....	3,000
繰延税金資産.....	889	未払法人税等.....	529
その他.....	2,804	繰延税金負債.....	35
貸倒引当金.....	303	その他.....	17,475
固定資産.....	43,122	固定負債.....	42,163
有形固定資産.....	27,706	長期借入金.....	34,051
建物及び構築物.....	13,431	繰延税金資産.....	0
機械装置及び運搬具.....	4,283	退職給付引当金.....	8,068
工具器具備品.....	1,039	その他.....	43
土地.....	8,741	(少数株主持分)	223
建設仮勘定.....	160	少数株主持分.....	223
その他.....	50	(資本の部)	46,465
無形固定資産.....	1,872	資本金.....	8,023
投資等.....	13,543	資本剰余金.....	5,011
投資有価証券.....	6,050	利益剰余金.....	33,279
長期貸付金.....	218	その他有価証券評価差額金	393
繰延税金資産.....	4,567	為替換算調整勘定	678
その他.....	3,357	自己株式	132
貸倒引当金.....	651		
合計	134,703	合計	134,703

中間連結損益計算書

(平成14年4月1日から平成14年9月30日まで)

	百万円
経常損益の部	
営業損益の部	
営業収益	66,742
売上高	66,742
営業費用	66,951
売上原価	57,415
販売費及び一般管理費	9,536
営業損失	208
営業外損益の部	
営業外収益	232
受取利息及び配当金	146
その他	86
営業外費用	1,003
支払利息	518
その他	485
経常損失	980

特別損益の部

特別利益	9
その他	9
特別損失	409
固定資産除却損	24
退職給付引当金繰入額	291
役員退職慰労金	12
その他	81
税金等調整前中間損失	1,379
法人税、住民税及び事業税	273
法人税等調整額	327
少数株主利益	9
中間損失	1,990

中間連結剰余金計算書

(平成14年4月1日から平成14年9月30日まで)

	百万円
中間連結剰余金計算書	
(資本剰余金の部)	
資本剰余金期首残高	5,011
資本剰余金中間期末残高	5,011
(利益剰余金の部)	
利益剰余金期首残高	36,412
利益剰余金減少高	3,133
配当金	1,136
取締役賞与	6
中間損失	1,990
利益剰余金中間期末残高	33,279

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(平成14年4月1日から平成14年9月30日まで)

	百万円
中間連結キャッシュ・フロー計算書	
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,933
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,155
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,522
現金及び現金同等物に係る換算差額	263
現金及び現金同等物の増加額	2,991
現金及び現金同等物期首残高	12,803
現金及び現金同等物中間期末残高	15,795

トピックス

グローバル化

中国での委託生産工場スタート

一部機器商品の中国での委託生産を開始、日本にも輸入します。

中国に自動車生産ライン向け事務所増設

日系自動車メーカーの中国生産本格化に伴い、従来より運営してきた北京に加えて天津、重慶に駐在員事務所を開設しました。なお、配送センター、液晶・半導体向けとしては、4月より「大福自動化物流設備(上海)有限公司」が営業を開始しています。

グローバルホームページ開設

海外向け案件のウェイトが高くなってきたため、現地法人が独自に運用してきたホームページを統合。DAIFUKUブランドの世界規模でのイメージアップ、ITと融合させたマーケティングを展開します。



中国での委託生産工場



グローバルホームページ(<http://www.daifuku-world.com>)

展示会その他

「国際物流総合展2002」に出展

世界3大物流展の一つ、「国際物流総合展2002」(10月15~19日、幕張メッセ)に出展。SCM対応の高機能物流システムや各種ソリューション提案を披露しました。前回は大幅に上回る登録来場者にお越しいただき、好評を博しました。

「2002洗車ビジネスフェア」を開催

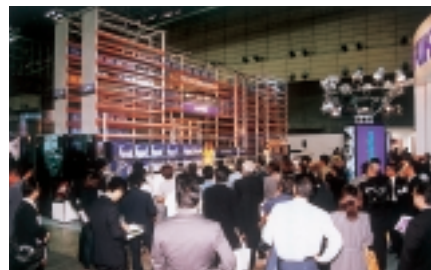
全国の石油元売会社、サービスステーション関係者など500名余りを滋賀事業所にお招きし、新発売の洗車機をご覧いただきました(8月)。

マテハン関係の賞を相次ぎ受賞

日本MH協会が制定する「下地賞」に物流センター管理システム“ウェアナビ”、同じく「優良MH機器ならびにシステム大賞」に“無軌条式移動ラック”が選定されました。

環境報告書を作成

ISO14000認証を取得している小牧・滋賀両事業所の環境活動状況をまとめた初の環境報告書を作成しました。



国際物流総合展2002の当社ブース。新型自動倉庫「マジックソーティングシステム」を中心とする高能力出荷システム。



全く新しい発想の洗車機「シャワースピナー」を披露(洗車ビジネスフェア)

製品のご案内



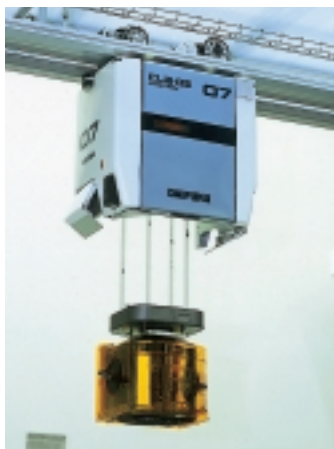
宅配便を出荷方面別に仕分け。“ジェットサーフィンソーター”



ホームセンター向け商品を格納。建屋一体型自動倉庫“ラックビルシステム”



自動車生産システム。“パワーローラーベッド”



クリーンルーム用搬送システム。クリーンウェイ



キャラクターグッズを保管。重量級移動棚“移動ラック”



みかん収納ケースをパレットに積み付け。“オートパレタイジングシステム”



物流センター管理システム。WMS“ウェアナビ”

株 式 メ モ

決 算 期 日 3月31日

定時株主総会 6月中

基 準 日 毎年3月31日

公告掲載新聞 日本経済新聞

上場証券取引所 大阪第1部、東京第1部、
名古屋第1部

名義書換代理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日綱町1番10
住友信託銀行株式会社
証券代行部

(電話照会先) 住所変更等用紙のご請求
☎(0120)175-417

その他のご照会
☎(0120)176-417

(インターネットホームページURL)
[http://www.sumitomotrust.co.jp/
STA/retail/service/daiko/index.html](http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html)

同 取 次 所 住友信託銀行株式会社
全国各支店

株式会社ダイフク

本社:〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-2-11 TEL (06)6472-1261(代)
東京本社:〒105-0014 東京都港区芝2-14-5 TEL (03)3456-2231(代)